

会 議 議 事 録

会 議 名	令和４年度 学校関係者評価委員会		
開 催 日 時	令和４年５月２２日（日）　１０：００ ～ １２：００		
会 場	東京医薬看護専門学校 第４校舎３階		
参 加 者	委員等	８人 ６名来校 ２名オンライン	(参加者名) 卒業生代表：田園調布中央病院 橋本 敦 様 (ZOOM) 業界代表：同愛会病院　　　　　加藤 亮 様 (ZOOM) ：柏戸病院　　　　　古川 哲也 様 ：粘土科学研究所　手塚 平 様 ：コクミン　　　　　嶋本 智明 様 高等学校代表：拓殖大学紅陵高等学校 森 章様
	事務局	９ 人	地域関係者：葛西仲町町会　　　高橋 茂夫 様 保護者代表：歯科衛生士科　　　大塚 めぐみ様 東京医薬看護専門学校：学校長 須田 英明 副校長 石橋 佳子 運営本部長 小川 昭久 事務局長 居関 暁昌 教務部長 阿部 健 教務部長 大山 遥 キャリアセンター長 福田 昌彦 学生サービスセンター 鈴木 保夫 広報センター長 小泉 佳代

会 議 録

(1) 学校長挨拶 (須田)

本日はお忙しい中、コロナ禍、梅雨の最中また日曜日に、学校関係者評価委員会にご出席いただき大変にありがとうございます。

今年度より看護学科が新設され、2022年4月から新入生を迎え入れている。この中葛西の校舎で救急救命士科・臨床工学技士科と併せて3学科の学生が学んでいる。教育状況としては、コロナの状況によって、オンライン・ハイブリット型の授業から徐々に対面授業に移ってきている。コロナの状況、ウクライナ情勢、人口減少と進み先が見えない現在においては、何かしらの資格、技術を身に着け生き抜くことが大切となってきたのではないかと感じている。

外部の方からご意見を頂戴できるというのは改善改革を行いやすいので、本日は忌憚のないご意見をいただきたい。どうぞよろしくお願いいたします。

(2) 委員自己紹介 (各自)

上記出席者の自己紹介を実施

(3) 学校関係者評価委員会趣旨説明 (居関)

専門学校は学校制度の中、専修学校専門課程に該当する。専門学校数は現在 2754 校、職業実践専門課程の認定校は 1,083 校になる。

職業実践専門課程には幾つかの条件があり、1. 学科ごとに教育課程編成委員会を設置しカリキュラムを構成、2. 企業等と連携して演習・実習等の授業の実施、3. 企業等と連携して教員研修の実施、4. 企業等が参画して学校評価の実施、5. それらを情報公開することになっている。

本校では 10 学科が職業実践専門課程に認定されている。本日の学校関係者評価委員会の目的は、昨年 2021 年度の評価を本校で自己点検自己評価を行い、事前に皆様に送付させていただいた。本日はその自己点検自己評価に対して評価いただき、客観性を持ち、今後の学校運営の改善のための助言をいただきたいと思う。

自己点検自己評価の項目は 10 項目ある。

1. 教育理念・目的・育成人材像、2. 学校運営、3. 教育活動、4. 教育成果、5. 学生支援、6. 教育環境、7. 学生の募集と受け入れ、8. 財務、9. 法令などの遵守、10. 社会貢献

(4) 評価

1. 教育理念・目的・育成人材像（居関）

1-1-2

教育理念は、お手元の教育指導要領（2種類があります）をご確認ください。こちらに学園の理念、教育目標、養成目的を掲載している。こちらに基づいて実施している。

1-1-2

教育課程編成委員を実施している。

1-1-3, 4

看護学科を例に挙げるとカリキュラム変更をもとにして、学科間連携等カリキュラムを実施している。

2. 学校運営（居関）

事業計画に基づいて、適切に実行している。

組織目的を教職員全体で共有し実行している。また理事会、会議、組織を計画・実施し適切に学校を運営している。賃金規定に関しては、目標設定をもとに達成度合いによって評価をしている。意思決定に関しては、それぞれに権限が設けられている。各研修等を学園全体、学校としても実施している。

・質問

今年の新入生の募集状況は？（高等学校代表 森様）

→回答 456名の新入生を迎え入れている。

3. 教育活動（阿部）

3-9-1.2

教育課程編成委員会を実施している。

3-9-4

授業アンケートを実施している。

また、講師会議を実施し、より良い授業運営の水平展開を実施している。

3-1 0-1

成績評価については、学生指導要領参照。

表彰は、卒業式の式次第に掲載している。

資格の取得計画の項目の評価を2としている。

→退職のタイミングでまだ講師の募集を実施している学科もあるため、評価を2としている。

4. 教育成果について（福田）

課題は病院系就職の年度内定率である。昨年よりも-1%となっている。

国家資格系はどうしても、国家試験にむけた勉強が優先事項となり、就職活動が後ろ倒しになってしまうことが要因。また、企業系年度内就職率は昨年よりも-5%となっている。理由としては、サービス業職種への採用倍率が上がり、ハードルが上昇していることである。対策としては、就職対策の授業を早期化すること、個別化支援の強化をすること、そして、企業系求人確保をしていくこと。

・資格取得率の向上について

不合格の学科については、当該年度だけではなく、合格までしっかり指導していく。

5、学生支援（福田・阿部・鈴木） 卒後支援として、就労状況のアンケートを実施している。 退学率軽減について、2021年度の退学率の結果は4.5%であった。今後5か年で3%台にしていきたい。現状としては1年次での退学が最も多くなっている。 留学生支援について、コロナの影響で留学生数自体が減少している。 経済的な側面での支援として、学校としては奨学金等を活用した分納制度を実施している。2021年度に関しては、未納金がゼロであった。 7. 学生の募集と受け入れ（小泉） 今年から募集をスタートした看護学科は定員どおりの1期生に入学していただいた。また、定員増した歯科衛生士科においても、80名の入学生を迎え入れることができた。 学校全体では、定員充足することができなかった。 8、財務状況（鈴木） 株式会社滋慶サービスが財務の管理を実施している。 財務状況については、財務諸表に掲載しHP上に情報公開している。本校は学校単体としてではなく滋慶学園としての財務諸表となる。 個人情報については、すべての教職員がTRUSTeの研修を実施している。また講師を含めた全教職員がITリテラシーのテストを毎年実施している。 質問（森様） 人件費支出額とその割合はどれくらいか？ 回答 学園全体だと40億程度で、割合としては40%程度である。 学校単体だと4億弱で、割合としては30%程度である。 10、社会貢献活動 学校としては、施設提供を実施している。 学生のボランティア活動としては、まだコロナの影響もあり、数多くは実施できていない状況にある。歯科衛生士科で地域の小学校で歯磨き教室を実施した。 意見交換 森様 同じ学校ということで、丁寧な説明ありがとうございました。送り出す側としてどんな支援、教育活動しているのか気になっていた。また同じ私立校なので、人件費等どうなっているのか気になっていた。 安心して送り出せる学園・学校だと感じる事ができた。 古川様 離職された卒業生のフォローについて共有したい。 学校で離職理由を把握してれば、ぜひ教えて欲しい。本当の離職理由を企業側と共有できれば、企業側も変わることができる。 これまで経験できていたことをできなかった学生（コロナ禍の影響のため）のフォローをぜひ一緒に協力していきたい。 近隣の病院でコロナの患者さんを受け入れたら、集団で医療従事者がやめてしまった事例もある。
--

手塚様

採用している立場として聞いていた。真意を聞けないまま離職してしまっている。その他とてもきちんとしていて、小さい会社の代表としては参考になった。

嶋本様

コロナの影響で不安を感じている学生たちもいる。社会に出る際にコロナ不安を解消できることがあるのであれば協力したい。

離職は企業としてはとても気になる部分でなので、ぜひ情報共有をしていきたい。

高橋様

学校がこの町会にどのような影響を与えているのか、よい影響を与えているのかを考えている。中町町会としては、消防団に学生が所属していたり、消防訓練の際にはAEDを借りたりしてとても助かっている。

保護者代表 大塚様

この3月に長女が卒業した。就職した際には、就職先を教員がよく調べてくれたり、国家試験受験の際にも熱量をととても感じていた。就職後も教員とつながっていると感じている。

橋本様

コロナ禍でよくやっている。オール3で良いと感じながら聞いていた。退学率の部分では、保護者との連携が大切になってきていると感じた。当グループでも看護師・ST・EMT、大歓迎である。

加藤様

現場から見ると、実習先に実習生が戻ってきていない。

MSの中では、実際の学生を見て、どんな学生なのかを知ってそのまま採用につながるケースがある。コロナで難しい側面もあるかもしれないが、看護学科でも実習生を迎え入れる準備をしている。不慣れな部分も多いが準備しているのでどうぞよろしくお願いします。

阿部

学生実習状況について、追加でご報告する。コロナですべての時間を実施するのは難しいが、半分は現場、半分は学内のオンライン等を活用しながら実施している。

石橋副校長

44名の入学生、8割程度が高校卒業生である。男子学生も在籍している。実習は1年生の7月に8病院に出向いていく予定でいる。江戸川区内では、なごみの家にも出向いていく予定である。

小川運営本部長

この2年半は学園全体でコロナ対策を実施してきた。そのため、今年度ははもう少し支出が上昇している。オンラインでの授業環境を整備するため、WiFi確保、PC確保などが必要である。オンライン授業整備のために教職員の残業もとても増えている。何とかオンラインでも学習環境を保つことができたのではないかと感じている。徐々に落ち着いてきたので、学生の満足度の高い運営をしていきたいと思っている。この新校舎においても自然喚起・機械喚起・水道もすべて非接触にしている。

本日は、貴重なご意見いただきありがとうございました。より良い学校運営に活かしていきたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

以上